

広島版
学びの **変革**
へんかく
まな
全県展開中!

全ての子どもたちの「主体的な学び」を実現します!!

これからの変化の激しい社会を生きるために必要な「生きる力」を育てるため、令和2年度から「新しい学習指導要領」が小学校から順次スタートします。広島県では、これに先駆けて、子どもたちがこれからの社会で活躍するために必要な力を「主体的な学び」を通して育成する「**学びの変革**」に取り組んでいます。



子どもたちのワクワクを引き出す授業を実践中!

いま、社会では
このような変化が起きています

世の中には大量の情報があふれています
情報や知識を統合し、自ら深く考え、新たな答えを導き出す力が必要です。

グローバル化により多様な価値観や文化に触れる機会が増えています
文化や考え方が異なる他者と協働し、問題を解決する力が必要です。

文化や考え方が異なる他者と協働し、問題を解決する力が必要です。

次のような人材の育成を目指します

自分の言葉で、自分自身や広島・日本のことを語ることのできる自立した人材

多様性を受け入れ、異文化の人々とコミュニケーションができる人材

様々な人々と協働して失敗を恐れず挑戦し、新たな価値を創造できる人材

そこで、本県では
次の取組を推進しています

課題発見・解決学習
これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成を目指し、「主体的な学び」を促進するため、総合的な学習や各教科の授業で「課題発見・解決学習」を実施します。

異文化間協働活動
これからの社会で活躍するためのベースとなるグローバル・マインドや実践的なコミュニケーション能力の育成に向け、小学校段階から系統的な「異文化間協働活動」を推進します。

こんな授業をしています!
各学校の取組例を紹介します。



広島県水産研究所の方から廿日市の自然について学びました。

手話サークルのボランティアを体験し、感想を発表。



ブランド茶「世羅茶」を生徒自身で栽培します。

イタリアで開催された国際イベントで「世羅茶」を紹介しました。

小学校
廿日市市立大野東小学校
市役所のシティブロモーション室や社会福祉協議会、地域ボランティアなどと協力して、「ふるさと廿日市」について探究的に学ぶ教育活動に取り組んでいます。

中学校
庄原市立庄原中学校
ふるさと庄原の「誇りと貢献」について考え、話し合い、自ら行動することに挑戦しています。修学旅行では、外国の方へ庄原の良さを発信しています。



アイデアを出し合い、ふるさと庄原を発信するリーフレットを作成しました。

ALTにプレゼンテーションをして、英語でより良く伝える方法を考えました。

高等学校
県立世羅高等学校
地元の農産物を栽培、利用して新商品を開発したり、地域の特産品の人気復活を目指して研究を重ね、地域産業の活性化に取り組んでいます。

特別支援学校
県立廿日市特別支援学校
育成したい資質・能力は「は・つ・か・い・ち」(働く力・つなぐ・活用・意欲・知識)。児童生徒たちは、自分らしく豊かにたくましく生きる力を身に付けるため、真剣に授業に取り組んでいます。



来客とのやり取りの仕方を学んで、行事の受付係を担当。

水の色の変化を観察し、暮らしの中の不思議を発見する実験。

NEW
新しい取組①

学校になじめない児童生徒のための居場所づくり
スペシャルサポートルーム(SSR)を設置しました!

「スペシャルサポートルーム」(SSR)は、不登校を始め、集団学習になじめない児童生徒が、学校とのつながりを途切れなくするために、校内に居場所をつくる取組です。今年の4月から新たに県内の5市町5小学校・6中学校に設置しました。
今後は、一人一人の状況に応じた学習支援などによって、児童生徒の学校や社会とのつながりを確保。個別の状況に応じた学習や生活の支援の在り方について調査研究を進め、県全体へと普及させていきます。

担当者の声

教室内は生徒がリラックスできる空間にしています

子どもたちが成長する力を実感しています。

呉市立吉浦中学校
教育相談コーディネーター
よしもと
吉本かをり先生



子どもたちは自分で日々の学習内容や目標を決めて、自主的に学んでいます。私たちの役割は、子供たちが社会で自立して生活できるように、コミュニケーション力を付け、自分で判断して行動できるよう手伝いをすることです。今まで通学できなかった子供たちが、積極的に学び、元気を取り戻していく姿に接するとうれいんですね。

NEW
新しい取組②

県教育委員会と東京大学先端科学技術研究センターが描く未来の教育
「東大ROCKET in 広島」が始動!

不登校を始め、学校での集団学習になじめない児童生徒を対象に、体験活動を通して知的好奇心を喚起し、社会とのつながりを促す画期的な教育プロジェクトがスタート!7月に第1回を開催しました。

第1回
テーマ **調べろ! 君は探偵になれるか!?**

参加した児童生徒が取り組んだミッションは、探偵として、「磁器」と「陶器」のように、一見似ているものの違いを明らかにすること。舞台は、知の宝庫である広島県立図書館と、あらゆるものがそろった福屋八丁堀本店。本で調べて明らかになったことをもとに、百貨店で実物を見たり、触ったり、店員さんの話を聞いたりしながら、自分たちの力で課題を解決する体験を通じて、学びを深めました。



東大ROCKET in 広島とは

不登校を始めとする、学校での学習になじめない児童生徒が、体験を通して学んだこと、自分の持つ知識や技能とを結び付ける「学びの場」を提供し、学び続ける力を育むプロジェクトです。

